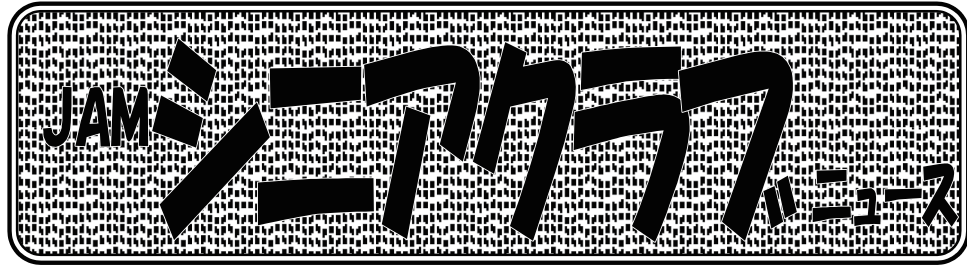


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

第215号

発行日 2025年11月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

新潟

第24回総会を開催 清水弥一郎事務局次長



ました。

総会では、向こう一年間の活動計画、組織拡大のお願い、予算など全ての議案が可決・承認されました。参加者は「普段なかなか会えない、むかしの組合の仲間に出会えるのを毎年楽しみにしている」と話していました。

千葉

第25回総会を開催 蝦名秀信 通信員

千葉シニアクラブは「まーだ夏」の10月6日「ホテルポートプラザちば」で行われました。

参加者は来賓を含めて総勢39名。蛇足ですが、自民党は「高市早苗」総裁が誕生していました。

冒頭、来賓のJAMシニアクラブ、田中久弥副会長より挨拶をいただき、参院選の結果とお礼、通常の活動に戻って来ている全国シニアクラブの状況を共有し

め40名が参加しました。にぎやかに楽しい時間を過ごしました。

岐阜

総会と25周年記念 レセプションを開催 井亦廣幸 事務局長

岐阜シニアクラブは10月25日ホテルパーク岐阜ホールにて、代議員、役員合わせて46名、ご来賓8名の方に参加を頂き第25回総会を開催しました。

岩田副委員長の開会挨拶後、議長に小山昭久氏を選出し、長澤会長の挨拶後、ご来賓のJAMシニア大山前会長、岐阜・野村県議、JAM東海岐阜県連堀田新会長、JAM愛知シニア吉田会長の4名の方にご挨拶を頂き、2025年度の活動報告、決算報告、会計監査報告と2026年度運動方針案、予算案、会員登録人員及び会費納入を審議し、満場一致で可決承認。その後、任期満了に伴う202

6・27年度役員を選出し、最後に退任役員表彰では、岐阜シニアクラブの強化と発展に多大なご尽力を頂いた岩田健次さん(16年)、大宮満さん(6年)、岩田正也さん(2年)の3名の方を表彰し、勝野事務局次長の挨拶で閉会しました。



主張



夕食を終えて間髪入れずに煙草を吸いに庭先に出て一服の楽しみを味わいながら昔を懐かしむ日々を過ごしています。その中の一つが、郡山りよう候補から郡山りよう参議院議員へと変わった事です。良かったです。有り難いことです。今回の選挙戦を通じて、滋賀シニアクラブ幹事会に二回も顔を出して意見交換が出来たことはかけがえのない事実です。

滋賀シニアクラブ役員は、専業農家、年金生活、アルバイト的にシルバーで小遣いを稼ぎながら子供たちと接したり、地域への貢献(ボランティア活動)などで、多くのコミュニケーションツールを持っています。郡山候補との懇談会では、農業の実態(コメ価格、人手不足、日本農業の将来等)から社

郡山りよう参議院議員への期待

滋賀シニアクラブ事務局次長 山元 明

パフォーマンスを見るにつけ、時代の変化を直視する事も出来た。昔からの「馴染み」の役員の皆が頑張っている姿は、懐かしく、有難く眼に留まりました。この様な機会を通じて議員の人となりを見せて貰い、若くして決断した「郡山りよう」参議院議員に頑張れとエールを送らせて頂きます。質問に対する答弁、回答はモノづくり産業の将来にも応えてくれると確信して止みません。

JAM加盟の組合は、決して強い組合ばかりではないと思っています。郡山りよう参議院議員には、36万人の家族がいる、支えてくれている事を肝に銘じて今後の活躍を祈念します。

神奈川

第25回総会を開催

加藤照雄 事務局長



神奈川シニアは10月24日、神奈川県労働文化センターにて、第25回定期総会を開催し、来賓、シニア役員、代議員合わせて55名の参加となりました。

はじめに、飯田会長より、衆参議院選挙の結果などを含む時局や、神奈川シニアを取り巻く状況など、今年度の活動の取り組み方向などの挨拶があり、今年の参議院議員選挙では、郡山りよう候補が当選し、これは会員の応援と、基幹労連OB会の支援の賜物と報告されました。

来賓から、宮本JAMシニア新会長、鈴木神奈川シニア連合会長より連帯の挨拶をいただきました。郡山

りよう参議院議員、村田きょうこ参議院議員のメッセージが披露されました。

総会では、2025年度活動報告・決算報告、2026年度活動方針・予算案・今年度の役員の確認がされました。会員の高齢化や、定年年齢の引き上げ、現役組織の他県への移動により、加入組織の会員減少が報告され、組織人員800名を割り込む事態という状況が報告されました。今年度は、現役組織の3分の2が未加入の状況を改善すべく、現役役員の力を借りて組織拡大活動を行う事が確認されました。

神奈川シニア連合から要請された「フードバンク」活動について、地域で生活に困っている人、社会的に弱い立場にある人々に、子ども食堂や困窮世帯に無償で提供し「食のセーフティネットを目指す」活動に対し協力することを確認しました。総会は、飯田会長の発声による「団結ガンバロー」で締めました。

総会後は、懇親会を開催、生ビールや、日本酒と共に、刺身や寿司を肴に、久しぶりに会った仲間との談笑が続き、楽しく親睦を深めました。

愛知

第25回総会を開催

澤山棋正 事務局長

愛知シニアクラブは11月



1日名古屋都市センターにおいて第25回定期総会を来賓、役員、会員含め46名の参加で開催しました。本部の田中久弥副会長から自身の体験に踏まえて、郡山りようの当選の意義が語られました。吉田会長はじめ多くの来賓から気候問題、食糧問題について高市政権の姿勢が批判され、シニアとして認識を深めて声を上げていくことが健康寿命にもつながることが強調されました。議案審議では、組合役員OB会の殻を破る組織拡大の柔軟で地道な取り組みの継続が提起され承認されました。第二部の講演では、豊川市会議員の遠山さんから受けたアンガーマネジメントⅡ怒りのコントロールに関する「6秒間待つ」という対処法は試してみる価値があると感じました。

大阪

大阪城ハイキングに参加

原正巳 事務局次長



大阪シニアクラブは10月16日(木)に、大阪城音楽

堂で開催された退職者連合近畿ブロックの「クラシック音楽と大阪城ハイキング」に参加しました。

近畿6府県の退職者連合の持ち回り開催で、29回目の今回は大阪の担当で、1160人が参加した。大阪シニアクラブから、清水謙一代表幹事を先頭に19名が参加しました。

このような行事がブロック単位で開催されているのは近畿ブロックのみということで、日本退職者連合の大内事務局次長が「見学」で参加されました。

当日はあいにくの雨であったが、集会時には雨も止み、「アフター・アワーズ・セッション」による木管楽器の説明を受けた後、木管五重奏(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)のオープニング演奏を鑑賞した後、ハイキング出発式に入りました。

体調の関係で欠席された徳永代表に代わって奈良退職者連合会長の主催者あいさつの後、連合近畿を代表して連合大阪・田中宏和会長の挨拶を受けました。参加者には、大阪泉州名産の「泉州タオル」が配られ、そのスポンサーである近畿労金大阪・こくみん共済COOP大阪推進本部からも歓迎の挨拶を受けました。その後、壇上の6府県の退職者連合の代表者の紹介が行なわれました。

最後に、6府県退職者連合の最高齢者が紹介され、代表として大阪の95歳の橋本さん(NTT出身)から、「百歳まで頑張る」との力強い挨拶を受けました。そして、クロージング演奏のあと、三々五々、ハイキングに移りました。

京都

囲碁・将棋大会を開催

木村正次 会長

京都シニアクラブは恒例となった囲碁・将棋大会を10月30日に京都労働者総合



会館にて開催、今年で22回目を迎える大会も参加者の高齢化によって、囲碁に4名(島津3名、オムロン1名)・将棋に8名(島津6名、村田機械1名、泉軽金1名)というかつてない少数の参加となりました。

少数参加のため、すべてが総当たりの対戦となり、熱戦が繰り広げられました。対戦の結果は、囲碁の部・優勝者は楡さん(島津)、準優勝に橋本さん(島津)、将棋の部・優勝者は小西さん(島津)、準優勝に佐々さん(村田機械)、3位には田中さん(島津)となり、来年の再戦を誓って終了しました。

参加者の減少に対して今後、囲碁と将棋の大会を別々に開催してどうか、また現役組合員の参加なども検討課題として挙がっています。